

# 教 師 ノ ー ト

週課	第一年 第四課 第五週
単元	イースター
テーマ	キリストの昇天
タイトル	イエス様はどこに
テキスト	使徒1:3-11
参照箇所	ヨハネ20:24-29
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	使徒1:11
AG 日曜学校教案参照箇所	小下 2 卷(4)13 課
<p><b>□導入</b> 素晴らしい生き方をした人は、立派なお墓があります。でもイエス様にはお墓がないのです。墓跡はあるのですが、お墓はありません。どうしてだと思いますか？</p> <p><b>□ポイント1 復活されたイエス様は、弟子たちにお会いになりました(1:3)</b> イエス様の復活は、伝説や作り話しではありません。40日間という具体的な期間、最初はイエス様の復活を信じられなかった弟子たちに現れ、甦ったこと、生きていることを数々の証拠によってお示しになりましたのです。</p> <p>☞数々の証拠として、信じられなかったトマスに手のひらを見せて十字架の釘痕(くぎあと)を示したこと(ヨハネ 20:24-29)、イエス様の言うとおりに舟の右側に網をおろすと 153 匹のおびただしい魚が獲れたこと(ヨハネ 21:1-14)、500 人以上の人々に現れたこと( I コリント 15:6)などを紹介しても良いでしょう。</p> <p>☞聖書に記されているイエス様の奇跡である「死人の生き返り」と、イエス様自身の「死からの甦り・復活」は、違うということを前提にお話ししましょう。「死人の生き返り」を体験した人も、癒された後やがて死にました。しかしイエス様は神の子として、死人の初穂として、甦られ、今も生きておられます。</p> <p>☞イエス様が今も生きておられることは、各人に一番分かりやすい方法でイエス様はお示しになります。どんなことを通して、イエス様が今も生きておられることを体験したかを教師自身の証しとして分かち合っても良いでしょう。例えば、祈りが応えられたこと、事故から守られたこと、癒されたことなどなど。</p> <p><b>□ポイント2 イエス様は弟子たちに約束されました(1:4-8)</b> イエス様はやがて天に昇られるのですが、私たちを置いて一人ぼっちにしたわけではありません。もう一人の助け主である聖霊によって満たされて(聖霊のバプテスマ)、聖霊の力を受けることを約束しました。聖霊の力を受けると、イエス様が甦ったこと、今も生きておられることを人々に証する証人になることができます。</p> <p>イエス様は聖霊の力を受けるといふ約束をされました。聖霊なる神様は、私たちの目には見えませんが、イエス様を信じる人の心に住んで下さり、力を与えてくれます。だから私たちは「イエス様がどこかに行ってしまった」とか「目に見えないから生きていないんじゃないか」と思う必要はありません。聖霊の力を受けられることができます。人間の約束は、守られないこともあります。イエス様の約束、父なる神様の約束は、必ず成就(実現)します。</p>	

☞「力」は、「デュナミス」という言葉が使われ、ダイナマイトの語源となった言葉です。しかし破壊的な力というよりも、長血の女性がイエス様の衣に触った時にイエス様から出た力(ルカ 8:46)、救いを得させる神の力(ロマ 1:16)も同じ言葉が用いられており、人を癒し、建て上げ、救う、大きな大きな力です。

### □ポイント3 イエス様は、天に昇っていかれました(1:9-11)

イエス様は弟子たちに約束をされた後、みんなの見ていた前で天に上げられ、雲に包まれて見えなくなっていました。しばらく天を見上げていた弟子たちのそばに、白い衣を着た人が2人立っていました。そして「もう一度、今見たような様子で、イエス様はおいでになります」と言いました。

天とは、空の上のどこか、宇宙のどこかということではなく、父なる神様のおられるところのことです。イエス様は何となくどこかに行かれたのではなく、父なる神様のそばにおられるのです。そしてイエス様は天に昇って行かれてそのままずっと天におられるのではなく、もう一度天からおいでになります。

☞イエス様が天で何をされているのかという疑問があるようであれば、神様の右に座して私たちのために祈りとりなして下さっている(ロマ8:34)と語るのも良いでしょう。

☞新井満氏が歌詞を翻訳し、作曲した「千の風になって」という歌があります。もしかすると学校などで歌われているかもしれません。日本人の心の琴線に触れるものかもしれませんが、死ねば、大自然に帰り、そこでまた生まれ変わるというのは、輪廻転生的な思想で、聖書の復活の教理からはずれたものです。アニメなどの影響で「生まれ変わり」があると思っている小学生も多いようです。「生まれ変わり」や「前世」と「復活」は違うということ、またキリスト教は「靈魂不滅説」ではなく、肉体をもって栄光の体に復活することも教師は理解しておく必要があります。

### □結論 イエス様は、確かに甦られ、天に昇られ、もう一度お出でになります。

イエス様の復活は作り話しではなく真実です。そして私たちをほったらかしにして、どこか遠いところに行ってしまうのではなく、天に昇られました。地上にいる私たちには聖霊の力が与えられ、やがてもう一度イエス様は来られるのです。

### □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. イエス様が今も生きておられることを信じていますか？  
イエス様は死んでいなくなった神様ではなく、今も生きておられることを感謝しましょう。
2. イエス様が今も生きておられることを信じられない人がいたら、一緒にお祈りをしましょう。  
イエス様は弟子たちに一番分かりやすい方法で、イエス様が甦ったこと、生きておられることを示されました。信じられない人は、「イエス様が生きておられることを、僕にも分かるように体験させて下さい」と一緒に祈ろう。約束の聖霊が働いて、きっとイエス様を体験することができます。
3. 聖霊の力を頂こう。  
イエス様が生きておられることを体験した人は、そのことを友だちにお話ししよう！ そのための勇気や力を聖霊なる神様が与えてくれます。